

劇的！！ 移住ビフォーアフター

vol.13 清水町 伊藤 隼 さん

1 どうしてこのまちに？

地域おこし協力隊で仕事を探していた時に、清水町の内容が『私たちのアイデアでは限界なので、新しい風がほしい』という切り込んだ募集文書で、おもしろそうだなと思って応募しました。ほかの自治体も検討していましたが、今まで道東に住んだことが無かったので、清水町に移住を決めました。

2 清水町で実際に仕事をして、どのように感じましたか？

ふるさと納税の業務をやっていて感じているのは、ふるさと納税の返礼品を食べたことが無い方が町内にいらっしゃるんですね。清水町は道の駅がないため、返礼品を購入できる場所が限られています。清水町の物として返礼品を出しているのに、返礼品を清水町に住んでいる人が食べたことがないというのに少し違和感がありました。なので、町民に知ってもらう機会を作るのもいいかなと思っています。



町のためにお金を出してくれている人に対する返礼品を知らない、入ってきたお金が何に使われているのか分からない方もいらっしゃるのかなと思っています。このことをYoutubeで紹介していけたらいいかなと思っています。なので、Youtubeは再生回数を増やすという目的ではなく、清水町に住んでいる人や、清水町に移住を考えている人へ向けて、清水町を更に知ってほしいという目的で作っています。『清水町』で検索した際に町のお店が出てきて、町の雰囲気を感じていただけたらと思っています。

3 最後に移住を検討している方へメッセージをお願いします。

便利・不便で移住先の判断をしない方がいいと思います。一番大切なのは、自分が楽しいかどうか、目的に合っているかどうかで判断することだと思います。今の生活より不便だとか、整ってないとか、これが無いとか、考え始めると何もできなくなると思い

ます。個人的な感想になってしまいますが、自分は住んで1か月も経てば全く気にならなくなりました。どこに住んでいても、町としてある以上はそこで生活することはできると思います。

その街でできることが自分にとって楽しいかどうか、心が躍るかどうかで決めるのが一番だと思います。

まち（十勝）のお気に入りスポット

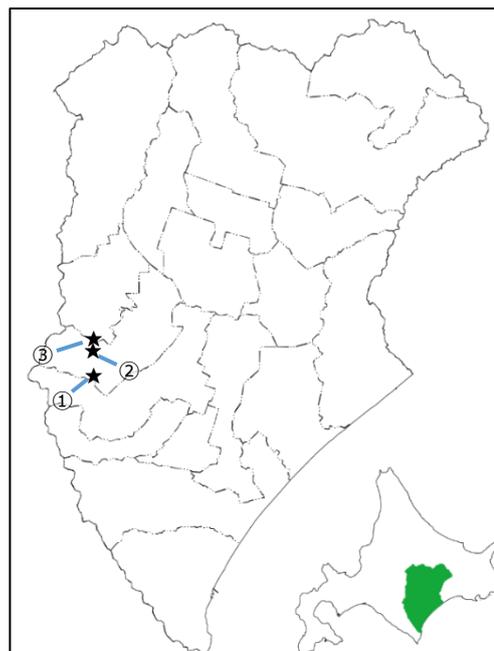
①ひだまり（カフェ）

→和食中心のメニューが多くあります

②日勝峠に向かう国道の大パノラマ

③三丁目広場

→地元産の新鮮な野菜が販売されており、清水町のお姉さんのような人がいます



清水町について

清水町の歴史は、明治31年（1898年）に、近代日本経済の父と呼ばれた実業家「渋沢栄一」によって設立された十勝開墾合資会社が熊牛農場を開設したことに始まります。

本町は十勝平野の西部に位置し、「国道38号線」と「国道274号線」の2本の国道が交差しており、さらには、道東自動車道のIC（インターチェンジ）を有する、まさに道東の玄関口とも呼べる町であり、豊かな大地が育む畑作と酪農が盛んな町です。

今後は、第6期清水町総合計画で掲げた将来像「まちに気づく まちを築くとかちしみず～想いをミライに繋ぐまち～」に向けて、町の歴史や地域性を尊重した郷土愛の醸成や、人との絆や心のつながりを重要とするコミュニティの形成を目指した町づくりに取り組んでいます。

（清水町 HP より）